

定例公安委員会の開催状況について

令和5年9月7日に、第24回定例山形県公安委員会が開催され、議事の概要は次のとおりでした。

1 交通規制の実施及び解除について

米沢市内の交通規制の実施及び解除(信号機の新設と撤去)について審議を行い、意思決定した。

委員のコメント

- 信号機の設置、撤去の理由がはっきりしており、妥当である。
- 信号機の設置や撤去は、引き続き長期的な計画に基づいて実施してほしい。

2 令和5年度9月補正予算案の概要

令和5年度9月補正予算案の概要について報告があった。

委員のコメント

- 要求した予算は効果的に活用してほしい。
- 迷惑防止機能付きの固定電話補助費について、県民が迷惑防止機能付きの固定電話を導入するきっかけとし、特殊詐欺等の被害防止ツールとして活用されるよう、普及へのバックアップを警察と県が協働して取り組んでほしい。

3 配偶者からの暴力事案への対応等について

配偶者からの暴力事案への対応等について報告があった。

委員のコメント

- DV事案は、全国的にも高い認知件数で推移しており、中には凶悪事件に発展するおそれがある事案も含まれていると思う。警察としては被害者の安全確保を最優先に、機敏な対応が求められる。限りある人材をより効果的に配置することも考慮してほしい。
- 認知件数が横ばいであるのに対し、検挙件数は令和3年から令和4年にかけて増加、援助件数は過去5年間増加しており、県警察として対応を強化してきたことが分かる。これらDV事案は、潜在化しやすい一方、加害者の支配欲が強く、事態が急転して重大事案に発展するおそれが大きいとの認識は適切であり、今後も検挙措置による加害行為の防止と、被害者の速やかな安全確保といった被害者に寄り添った対応を徹底してほしい。
- 警察と関係機関団体との連携を強化することが重要である。また、現場によって対応に違いが出ないようにしてほしい。

4 犯罪捜査における似顔絵の活用状況について

犯罪捜査における似顔絵の活用状況について報告があった。

委員のコメント

- 今後も引き続き似顔絵捜査官の活躍を期待する。更なる上達を目指して訓練してほしい。
- 犯人検挙につながる取組であり、捜査官の指定や講習会などは継続してほしい。一方で新しいテクノロジーを取り入れる余地もあるのではないかと。警察庁で検討しているかも知れないが、特徴を聞き取り、画像生成AIを活用するなどして、犯人検挙につなげられるのではないかとと思う。
- 絵の技術向上のほか、情報の引き出し方も重要と思うので、それらを踏まえた訓練に励んでほしい。

5 令和5年度庄内空港ハイジャック事件対応訓練の実施結果について

本年9月6日に実施された令和5年度庄内空港ハイジャック事件対応訓練の実施結果について報告があった。

委員のコメント

- ハイジャックは卑劣な犯罪である。関係機関団体が集結して訓練を実施することは非常に大事であり、今後も関係部署と連携しながら訓練を継続してほしい。
- 庄内空港、山形空港を抱える山形県としては起こり得ることという認識が必要であり、有事に備えた訓練の実施は大変重要である。
- 毎年、繰り返し訓練することが重要であり、引き続き実施してほしい。

6 令和5年度山形県・天童市合同総合防災訓練への参加（予定）について

本年9月10日に実施予定の令和5年度山形県・天童市合同総合防災訓練への参加について報告があった。

委員のコメント

- 県知事を筆頭としたヘリコプターやドローンを使用した大規模な訓練ということであるが、去年は、災害対応訓練後、鶴岡市で発生した土砂災害に対応するなど訓練の重要性を再認識した。人命を考えると病院等との連携も密にする必要がある。実際の災害発生時に生かせるよう訓練してほしい。
- 県民の認識としては、山形県は太平洋側の都道府県と比較して大規模な地震は少ないという認識がある。いざ災害が発生した場合は、混乱や被害が大きくなることも予想され、人命救助のために何が最善かを迫り、組織の垣根を越えた訓練は、とても貴重な機会である。この訓練を通じて様々な知見を高めてほしい。
- 県との協力はもちろんであるが、地域住民との共同訓練という貴重な機会であり、警察としてどのような連携ができるか模索しながら訓練してほしい。